

わく わく

夏休み号



令和8年7月17日
学校だより第5号
熊野第四小学校
校長 中川 隆

ともに伸びようとする子供「自分の思いや考えを伝えよう」

本校では、「共感的なかわり合いを通してともに伸びようとする子供」の姿をめざすために「表現する力」の育成に重点をおいて、全ての教育活動を通じて取り組んでいます。自分の考えを「言葉で伝えよう」「図や絵で伝えよう」「行動で伝えよう」など場面に応じて**根拠を基に相手に分かりやすく伝え、対話を重ねています。**私たち職員も子供たちが自分の中に「伝えたい」という思いをもてるように工夫をしています。

例えば、3年生の算数科の授業では、子供たちが生活経験を基に学習のめあてがしっかりつかめるように導入を工夫されていました。お店屋さんがたくさん並んだお菓子の絵から、「みんなに100円を渡すよ。何を買いたい？」と言うと子供たちは口々に買いたいものについて話し始めます。しばらくすると、「二つ買えそう。」と考える子供も出始めます。「チョコとラムネ。」「買えないよ。」「どうして?」「合わせたら100円超えるよ。」そこで先生は、「どうやって計算したの。」と問うと子供たちは「頭の中で。」と答えました。そして「頭の中で計算することを暗算というよ。きょうは暗算で計算できるようになる。」と本時のめあてを共有しました。全員が今日のめあてをしっかりとつかんで授業が進むため、ペアやグループでは、自分が頭の中でどの様に計算したかについて、どの子供も伝えたくたまらない様子でした。

自分の中で考えを整理して書きました。その後、「聞いて聞いて!」と一斉に挙がる手。互いに伝え合い、みんなで考えを共有しました。



また、2年生図画工作科“くしゃくしゃぎゅっ”では、大きな紙袋をくしゃくしゃにして、膨らませてぎゅっとした形から飾りや目など思い思いにはり付けて、「ぎゅっとしたい!わたしのお友だち」を制作しました。その後の鑑賞では、「ポケットへ入れられるようになってるよ。」「すごいね。入れてみてもいい?」「どうぞ。」そのやり取りに近くで鑑賞していた子供も参加しながら自然に会話が広がりました。別の場所では、「ここ見て、見て。」「何々?」「ぼくは、こうやってしたよ。」と自分の工夫したことを紹介しながらお互いの作品を鑑賞していました。鑑賞を終えた後のワークシートには、感想と理由がびっしりと書かれ、自分の伝えたいことを伝え、聞いてもらったという満足そうな顔が素敵でした。



熊四小防災の日 「未来へ繋ぐ 尊い命の大切さ」

7月6日(月)は、熊四小防災の日でした。黙祷を捧げた後、校長先生のお話、熊四防災君が登場する動画を視聴し、地域に在住の小川さんからお話を聞きました。「天災は忘れた頃にやってくる」ということわざを紹介し、「日頃の備え」や「自分の命を自分で守る」ことの大切さについて話されました。子供たちは、「安易に大丈夫だろうと思うことは、とても危険だと思った。」「災害について学習して知っていても忘れてしまうこともあるので、こういう日があると日頃から準備したり災害の怖さを再確認したりできる。」など感想をもっていました。また地域の仲間同士で協力し合う「共助の大切さ」を感じていました。

あゆみ渡し

7月21日に個人懇談会を行います。あゆみは、お子様のがんばりや課題などを保護者の方に分かりやすくお伝えすることで、それぞれの子供の良さを伸ばし、より一層の成長につなげるために作成しております。がんばっている点はしっかり褒めていただくとともに、課題については次の目標になるよう家庭でお話いただければと思います。短時間ではありますがお子様の成長にとって有意義なものとなることを願っています。1学期、学校教育へのご協力をありがとうございました。長い夏休みに子供たちが様々な体験をし、一回り成長した姿で登校することを楽しみにしています。引き続き、本校の教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

インターネットやSNSの利用について

7月13日（月）に、3・4年生を対象に防犯防止教室がありました。自分の携帯を持っている児童も多く、身近なこととして捉えた児童も多かったと思います。

今回の講話では、まず、情報モラルとは何かについて話されました。交通ルールがあるように、インターネット上でもルールやマナーがあり、それを守らないとトラブルになってしまいます。特にSNS上では、相手の表情が見えないことから伝えたいことが伝わらなかったり、曲解されてしまったりすることでトラブルに発展してしまうため、思いやりの心をもってやり取りをしていくことが大切であると教えていただきました。

また、インターネット上のやり取りで、場合によっては罪に問われてしまうこともあることを学びました。写真を相手の許可を得ずに勝手に撮ってしまうと「肖像権」の侵害になることや、悪口を発信していると「侮辱罪」に当たる可能性もあり、例え匿名であったとしても情報がどこから発信されるのか特定されることを教えていただきました。最後にインターネットと正しく付き合っていくために、「あとがこわい」という合言葉を教えていただきました。



これからの時代の中、インターネットやSNSをどう使用するかは、避けては通れない課題です。携帯電話やタブレットを使用する時間や、ゲームの時間が長くなる可能性も十分考えられますので、お子さんがどのように利用しているのか、家族間で話し合ってみてください。そして、正しい使い方を身に付けてほしいと願っています。（4年生学年便り 参照）

プール開放について

7月21日から始まるプール開放にあたり、ボランティアの方のご協力がいただけることとなり、無事に全ての日程での開放が可能となりました。ありがとうございます。

集合、バスの乗車は正面玄関となります。送迎をされる方は、子供たちの安全確保のため、必ずグラウンドに駐車して降車することをお願いいたします。昨年度、徒歩で参加する子供がとても危険だったためです。なお、ボランティアの方は児童の集合より早く来て、バスの出発後も待機していただくため正門より入り、掲揚台付近、または、空いている場所に駐車してください。よろしくお願いいたします。

皆様からの地域テーマ募金、ありがとうございました。



昨年度、保護者や地域の皆様から寄せていただいた、地域テーマ募金は156000円もありました。引き続き「熊四小和太鼓」の継承に向け、樽太鼓や宮太鼓を置く台の購入費や制作費に使わせていただきました。ありがとう

ございました。6年生は7月から練習を開始し、作曲者の思いを聞いたり、「KSB カンパニー」の方からの指導にも熱心に取り組んだりしました。本年度は創立50周年を迎え、「三石の鼓動」を復活させます。11月14日(土)の学習発表会で披露します。どうぞ楽しみにしてください。

熊四小 読み聞かせ 「7月は平和への願い・命・仲間の大切さ」

毎月、第2・4木曜日に読み聞かせをしていただいています。今年度は7月9日の読み聞かせでは、「平和」「命」「仲間」をテーマにして子供たちに読み聞かせをしていただきました。今もお戦火の中で命を落とし、また大切な家族を失いつらい思いをしている方がたくさんおられます。読み聞かせてくださる優しい語りを聞きながら、子供たちは平和について関心を持ち、思いやりの心をもって自分にできる行動をすることが平和につながることに気付いたことと思います。ぜひ夏休みも、平和について考えてほしいです。



「ふでりんの森プロジェクト」への参画

今秋、筆の里工房の創作館がオープンするのを記念し、地域住民参画事業として、熊野町観光大使ふでりんが住む森を作る「ふでりんの森プロジェクト」があります。小学校でもクラスごとに「ふでの木」に模様を描き入れ、その木が創作館に飾られます。どんな模様にするかクラスで考え、楽しみながら創作しました。各教室の前に飾っておりますので、個人懇談会で来校された際、是非ご覧ください。

